

■文化、伝統、歴史など、中原区の魅力発信と活力向上の審議に向けて(検討シート)

1.これまでのおさらい 「文化、伝統、歴史など、中原区の魅力発信と活力向上」「新旧住民の交流や多世代交流」について、検討のポイントとなりそうなもの(これまでに出された意見(平成24年度報告書より))		2.第5回区民会議で出された意見	3.本日の検討事項
緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境の向上	緑地の保全、環境教育（小学校へ出前事業） 残り少なくなった緑地の保全活動と交流を図る。 緑の多い街、環境の向上	■メディアネットワークの活用 ・中原区は、メディア活用に積極的なので歴史や文化、伝統についてもメディアネットワークを活用してPRする。 ・歴史や文化、伝統の区の魅力をPRについては、わかりやすくするために動画を活用する。その動画については、インターネットで見られるようになる。	(1)「これまでのおさらい」や「第5回区民会議で出された意見」等を踏まえて、区の魅力向上や発信のために課題になることやアイディアを挙げてください。 (2)「テーマのタイトル」と「課題調査部会で検討する内容」について検討してください。
ゴミの再生がどうなっているのか	ゴミの分別の啓発、分別後のゴミのリサイクル状況調査等 ゴミについて、現在の状況、再生がどのようになっているか、ゴミ分別の重大さを認識してもらう	■歴史や文化、伝統と併せて中原区の工業についてもPRする ・中原区は、富士通、NECなど大企業も立地しているが、等々力や宮内にある町工場などの中小企業の技術も優れていると聞いている。このため、中原区にある中小企業の技術も区の魅力と考えられる。	
文化または観光の振興など、まちの魅力の発信	古道中原街道の復活 区の文化・歴史の発信、それに伴う諸行事の充実 街道が区名になっているのは、中原区のみなので、区民のみなさまに知ってもらえば。	■中原区の歴史や文化、伝統を知る機会をつくる ・中原区に古くから住む人も中原区の歴史や文化、伝統を知らないことが多い。 ・中原区民も中原区の歴史・文化・伝統を知らないことが多いので、これらをまとめた冊子、写真集をつくったらどうか。	
まちの活力向上	個人商店・商店街を元気に 地域の活性化 区民会議委員の所属する団体を通して地域を活性化したい	■中原区の文化や伝統にふれあえる機会をつくる必要がある ・親子で中原区の歴史や文化、伝統にふれあうことができるイベントがあつたら良い。歴史や文化、伝統にふれあうことにより、将来も中原区に住みたくなると思う。 ・中原区は、子どもの人口も増えている。このため、子どもたちが中原区の歴史や文化、伝統にふれあえる機会や仕組みが必要である。 ・中原区の歴史や文化、伝統を子ども達が触れ合うきっかけがあると良い。	
地域住民組織の活動、まちづくり活動などの市民自治の推進	新旧住民の交流 交流コミュニティづくり その他	■新旧住民の交流を深めるために中原区の歴史や文化、伝統を活用する ・新住民が中原区に溶け込んでもらうために、区の歴史や文化、伝統とふれるということは、良いコンテンツだと思う。 ・地域の関心を深めてもらえるようなきっかけ、新旧の住民の交流のためのきっかけとして地域の資源を活用する。 ・新旧住民の交流する機会としてお祭りなどの歴史や文化、伝統を活用する。 ・中原区に古くから住む人が語りべとして新しい住民に伝えられるような仕組みがあつたら良い。	
	新旧住民の交流 交流コミュニティづくり その他	■古くから住む住民が新しい住民に区の魅力を伝える仕組みをつくる ・中原区には、新しい住民が増えているので地域の資源を知らないと思う。古くから住む人たちが新しい住民に中原区の文化や伝統を伝えられるような仕組みがあると良い。	
		■市民活動団体等との連携 ・歴史や文化、伝統を通じた世代間交流を図るために、地域方達や市民活動団体と連携して行う必要がある。 ・地域のお祭りの神輿担ぎに法政二高の生徒に参加してもらったことがある。お祭りが大変に盛り上がった。 ・文化協会では、月に1回伝統文化の無料体験会を開催している。今回のテーマで何か手伝えることがあれば言ってほしい。 ・区の魅力をPRするためには、行政だけで行うのではなく市民活動団体や企業等と連携しながらアイディアを出し合うことが重要だと思う。また、PRの取り組みは、単発ではなく持続できるような取組が必要である。	
区民会議のPR	あらゆる手段を通じて区民会議の認知度を上げる 区民の方々に区民会議の存在を一層知ってもらう		